

主催：信濃史学会・信州近世史セミナー

共催：長野県立歴史館

令和
5年度

近世史 セミナー

テーマ：近世の林業史を考える

長野県は、県土の8割を森林が占める全国有数の森林県。しかし現在、その豊かな森林を生かした林業を取り巻く状況は厳しさを増しています。本年度の近世史セミナーでは、かつて信濃の主要産業であった近世の林業を考えます。ぜひ、ご参加ください。

◇日時

12月2日（土） 13：00～15：25

※受付 12：30 開始

◇会場 長野県立歴史館 講堂

◇申込 事前申込制

11月2日（木）から受付開始

申込方法は、県立歴史館ホームページ（ながの電子サービス）FAX、ハガキ、来館があります。詳しくは総合情報課までお問い合わせください。

当日、常設展券（一般300円）が必要です。

◇内容

開会行事 13：00～13：10

研究発表1 13：10～14：10

「樽木の渡入の実現過程－享保六年を中心に」

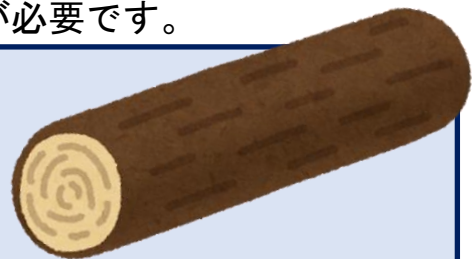
前澤 健 氏

研究発表2 14：15～15：15

「松本藩戸田家の時代の林業－表勘定所役人の仕事を中心に－」

菊入 三樹夫 氏

閉会行事 15：15～15：25



【問合せ先】長野県立歴史館 総合情報課

TEL 026-274-3991

FAX 026-274-3996